



校長通信

令和3年度 4号 令和3年5月17日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

今週、いよいよ1学期中間テストがあります。1年生にとっては初めての定期テストとなります。国語・社会・数学・理科・英語の5教科で実施します。最後まで諦めず、日頃の学習の成果をしっかりと出してくれることを期待しています。



《令和2年度卒業生・卒業記念寄付について》

令和2年度卒業生の保護者の方々から卒業記念のご寄付をいただき、折り畳み式テントを購入させていただきました。今月14日、納品がありました。体育的行事を中心に熱中症対策等に大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



《新学習指導要領に対応した評価の観点について》

校長通信3号(前号)で評価の観点が、3観点(知識・技能)、(思考・判断・表現)、(主体的に学習に取り組む態度)となったことを説明しました。今号では、それぞれの観点について、説明いたします。

(知識・技能)

学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。

(思考・判断・表現)

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。

(主体的に学習に取り組む態度)

この観点は、以下の二つの側面から評価する。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

引用文献

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(文部科学省国立教育政策研究所)

専門用語と抽象的な文言で、少しわかりにくいかもしれませんが。私なりの言葉で説明しますと、①各教科で、知識を暗記するだけではなく、実際にその知識を活用する力
②知識・技能を更に活用して課題を解決する力 ③粘り強く学習しようしたり、学習を振り返って、修正したりする態度の3つを評価していくということです。

AIや環境問題、国際化など、変化が激しい社会の中、時代のニーズによって必要とされる能力は、変わらない部分もありますが、変化する部分が多々あります。社会の変化に対応するため、子供たちには、これからいくつになっても前向きに学習する姿勢を身につけてほしいと思います。

謙虚に学び続ける